

2026 年 9 月 28 日
日本冶金工業株式会社

「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）」提言に賛同

当社はこのたび「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）※¹」による提言への賛同を表明し、TNFD Adopter に登録いたしました。

鉄鋼業はエネルギー多消費型かつ、原材料の調達段階を中心に自然への依存や影響も大きい産業です。当社では気候変動問題はもとより生物多様性への対応は経営課題の一つと捉えており、生物多様性保全に積極的に取り組み、社会に対しての責任を果たします。

当社は、自然関連の依存・影響・リスク・機会を把握するため、自然資本・生物多様性に関する分析を行いました。分析にあたっては、TNFD が推奨する LEAP アプローチに沿った評価を実施し、開示いたしました。※²

今後も当社は自然資本や生物多様性への対応を継続的に強化するとともに、TNFD の提言に基づいた情報開示を行ってまいります。

※1：企業が自然資本や生物多様性に対する依存および影響を把握し、それに伴うリスクと機会を評価し開示する国際的な枠組み

※2：下記リンク（統合報告書 2026 P52）よりご参照ください。

https://www.nyk.co.jp/pdf/investors/nipponyakin_integrated_report_2026_single.pdf

本件に関するお問い合わせ：経営企画部（電話：03-3273-3612）